





死亡確認書

陳中一 矢歩 岸 滝			有國 都 計
四 四 七 七 飯			輝 遊 勝 屬
後 死 普 心 海 此			文 投 樓
			職 等 官
			名 天
			木 籍 地
妻	續 願 氏 名	正 介	留 手 取 書 者
	正 介	昭 弘 八 月	死 亡 状 况
敬 元	甲	甲	死 亡 状 况
湯 尾 名	相 項 團 民	後 校 榮 美	遺 留 物

昭和五十二年七月五日  
 日所屬部隊  
 田官等職  
 任長  
 職友  
 姓名  
 現住  
 氏名



五	五	五	五
五	五	五	五
五	五	五	五
五	五	五	五

死亡事實(現認)證明書

本籍地 [REDACTED]  
 現在所 本籍地 [REDACTED]

所属部隊 第一〇六九部隊

徵集年 昭一〇 官等級 陸軍准尉  
 氏名 [REDACTED]

有之者 昭和三十年 八月十六日 時  
 分 北島ニ於テ多クヤニ依リ戰傷

病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和三十一年十二月二十五日

所属部隊 陸軍第三十六師第三中隊  
 職名 兵 谷 兵 衛

官等級 陸軍少尉

氏名 [REDACTED]

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シアルモノハ詳記ス  
 二、職名ハ中・小隊長、砲手、操縦手等ト詳記ス

36-11

1696  
355

未

者 帶 連 長 科 長 課 長

昭和二十二年 月 日 留公(第 號)

死亡者調査表

昭和二十二年 月 日 調製  
地方世話部 製刷

整理番號	所屬部隊	固有名	通稱	死亡時の官階	死亡時の官年並に發令	氏名	生年月日	死亡年月日時	死亡區分	死亡直前の職務	資力	手入料	緯線	及所見	現認者	現住所	所屬部隊	官階	氏名印	官階	未歸還届
	固有名	通稱	死亡時の官階	死亡時の官年並に發令	氏名	生年月日	死亡年月日時	死亡區分	死亡直前の職務	資力	手入料	緯線	及所見	現認者	現住所	所屬部隊	官階	氏名印	官階	未歸還届	
	固有名	通稱	死亡時の官階	死亡時の官年並に發令	氏名	生年月日	死亡年月日時	死亡區分	死亡直前の職務	資力	手入料	緯線	及所見	現認者	現住所	所屬部隊	官階	氏名印	官階	未歸還届	

○本表中※印の欄以外は世話部にて記入すること  
○記載上の注意並に履歴欄は裏面にあり(記載上の注意をよく読んでから記入の事)

8170

死亡(若)現狀證明書

昭和二十二年八月二十日

所屬部隊 陸軍第一〇五〇部隊

本籍地

兵名 車尾 兵制理

種別 手 傷人者名

人

死年月日時刻 昭和二十二年八月十七日 午前 時 死に場所 北村の心ビカン

死亡原因 野病死

傷病名

脚 結核

發(受)病(傷)年月日

發(受)病(傷)場所

胸部疾患

現住所

続柄

妻

代名

遺骨遺留品の有無

遺族承認の有無

所屬部隊 固有名 陸軍第一〇五〇部隊 編制番号 陸軍第一〇五〇部隊

官階

出生年月日 昭和二十二年二月 一 日 出生地 佐世保 港

現住所

20-10

現認(事實)證明書

本籍地 [REDACTED]  
所屬部隊 [REDACTED]  
同有 [REDACTED]  
即此 [REDACTED]

死亡年月日時 昭和五年(即西曆一九三〇年)十一月十四日

死亡原因 患傷寒病(即死) 現對遺囑( )

死亡場所 前住 [REDACTED]

死亡狀況 死

(他) [REDACTED]  
(四) [REDACTED]  
[REDACTED]

遺留物 [REDACTED]

死亡原因之詳細 [REDACTED]

左列諸少相違 [REDACTED]

昭和五年 [REDACTED]  
現住 [REDACTED]  
現居 [REDACTED]

事實證明書

本籍地  
現住地  
所屬部隊

右同

第十旅空情報隊  
徵集年昭聖年役種甲種兵種步兵官等

陸軍軍曹一等級

留年相當者庄所

續柄父氏名

[Redacted]

氏名  
生年月日

戰地到着年月日

昭和十九年六月十日 (推定)

勤務概要

昭和十九年九月十日 (推定)

部隊長職任木  
人等一和信二河  
川宛定ニシルヲ

電波探知機使用言ハ警戒小隊、小隊司令所ニ於テ  
小隊長ノ補佐役

後病(愛慮)病

凡シニ病ニシテ大別並ノ一ノ也云々

後病(愛慮)病

昭和十九年八月十日

10-16

姓名	体...
死亡年月日	昭和二十一年八月十八日(推定)
死亡場所	ルソン島 ランカ州...
死亡原因	戦病死
死亡時状況	横二十多マ、三三日後遺、合意不振、下痢、顔今ミ
戒儿可ク詳細ニ	薬品ニテ治療セシ元...

右證明ス

昭和二十一年九月十日

本籍 栃原部 陸軍 援捕中尉 氏名 威一八九一六部隊

右證明ス

昭和二十一年九月十六日

[Redacted Signature]

10-17

本籍地

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日

地方世話部

所属部隊 固有省名 千航測隊 通稱 比島航空隊

職 現 兵 死 兵長 兵長 氏名 生年月日 年 月 日生

死亡年月日時 昭和 年 月 日 午後 時 分 死亡場所 比島ネグロス島

死亡区分 戦病死 傷病名 脚気

遺棄(病傷)年月日 昭和 年 月 日 准士官以上 任官年月日

死亡時 状況 昭和 年 月 日 脚気 遺留品 有無

右 證明 候 也 昭和 年 月 日 所屬部隊 千航測隊 隊長 殿

9-12



		光緒	三九	刑部	刑部
		兵部	兵部	兵部	兵部
		[Redacted]	何	氏	
		敗死	某	名	
		刑部	刑部	刑部	
		刑部	刑部	刑部	
		刑部	刑部	刑部	
		刑部	刑部	刑部	
		[Redacted]			
		刑部	刑部	刑部	
		刑部	刑部	刑部	

刑部  
兵部

刑部  
兵部

刑部  
兵部

[Redacted]

13-11

故陸軍部長

戦死前後之状況

昭和陸軍第六十師ニシテ東方據拠ノ陣地ニ於テ予ノ小隊ニ編入セラレタルヲ以テ  
 第三分隊長ヲ命ジ兩挺銃多ク戦斗ニ参加シ克ク其分ヲ完遂セラレシモ八分  
 十八日ハ陣地ニ於テ壯烈ナル戦死 遂テラルルモ 若ハ陸軍部長ノ實  
 然ニシテ寡黙ノ不言實行ヲ以テ部下ヲ指揮セシタリ 戦々南風ノ彼方ニ多ク  
 部下ヲ失ヒタルハ戦ノ帯下ニ謂ハ御遺族ニ申譯スルヲ終ニ終戦後ノ今日  
 ニ於テ余ヲ申上ル可キ詞モ無シ以下前號ノ状況左ノ如シ  
 自四月八日五月九日間前記ノ陣地ニ於テ亦戦死三月上旬ヨリ我カ陣地  
 ニ對スル敵ノ砲撃撃之ヲ期間ニ至リ愈々熾烈ナル損害多ク為ニ苦  
 戦ノ状態ニシテ小隊ノ兵力亦少ク一ノ失フニ至リ此ノ時我軍飛  
 行機ノ来着ヲ待ツマ多クシテ之ニ對シテ亦スル如ク死傷甚ダシク  
 陣地ノ保衛困難トナリタリ 然レテ亦其苦戦ヲ失ヒタルモ士氣  
 旺盛ニシテ五月十九日夜予ト共ニ該陣地ニ於テ戦死スルニ至リ陣地後

八食料竟ノ如ク二十又之カ獲得ニハ金力ヲ備ケルモ遺藏ナカラ  
 取者ヲ發出スルノ状態ナキハ八月ノ末ニ至リタルモ遠ク密林中ノトト十六  
 日ノ夜ヲモ不知ル狀況ナリ備八月十七日食料獲得ヲ為田陣地ノ末附近ニ  
 至ルベク[ ]君ヲ伴ヒテ予以下名ヲ編成シテテ田陣地ニ向テ此時該陣地ハ  
 既ニ米軍古領シ在リテ密林被覆言ハテテ汗動困難ナリ之田陣地附近  
 ニ設置セル食料(米)入庫ニサレハ總ノ食料方無キヲ以テテ同日敵軍ヲ  
 突破シ同夜ハ田陣地ニ侵入シ同陣地十九日暮ニ至リ。據内ノ夢ヲ結テ  
 明之バ八月十八日早朝敵軍食料搜索ノ隊行動ヲ開始シ敵軍要兵ヲ古領幕  
 我中ナリニテ以テ極力企圖ヲ執遂ニ前進中ト四時頃凹地森林通過中  
 遂ニ敵ノ察見スルトコトナリ。其時敵軍ヲ受ケルヲ以テ直ニ敵軍  
 ルモ十四時十五頃敵ノ銃火ニ被用銃彈ハ[ ]君、胸部及腹部ヲ  
 貫通シ強ニ壯烈ナル戦死ノ致シタル也。時心ナシ。

昭和二十年八月十一日

現忍考

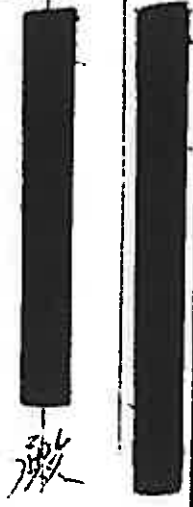
小松

殿

意

封筒表面

切手



激

封筒裏面

切手



激

Vertical column of handwritten text on the right side of the page, including characters like '激' and '切手'.

一 病礼

元陸軍兵長

確認

一 日崎

昭和五年一月廿四日

一 堀新

此島出ルシニ一ノカクナキニテ

一 堀新

元陸軍兵長

10-11

証書

存籍地

現任所右

氏名

所屬部隊

官等級

一級係從禮兵

一死亡年月日

一死亡場所

一死亡原因

一死亡事實及心傷者於何年何月

現況

陸軍曹長  
陸軍上等兵  
昭和三年八月二十日  
比島呂宋島中北郡下村

戰死

昭和三年八月二十日  
比島呂宋島中北郡下村  
陸軍曹長  
陸軍上等兵  
昭和三年八月二十日  
比島呂宋島中北郡下村

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名 額柄 戸主 [redacted] 長男

氏名

年 月 日生

58-11

北原 七

二、所属 四角 部隊名

比島 派遣 隊 第五四四七 部隊 [redacted] 隊

三、戦死者徵集年 昭和 年 月 日 役種 補 兵 死亡前官等 陸軍 上等 兵 昭和 年 月 日

四、戦死年月日時刻及場所 昭和 年 月 日 時刻 [redacted] (オホリノ島 北原 七 氏 家 敷 地 十 八 八 号 部 隊)

五、戦死原因ノ程度 戦時 勲 章 授 予 病 死、報 告 セル 所 無 又 同 隊 員 三 名 前

六、遺骨 歸 還 ノ 有 無 有

七、戦死當時ノ状況ノ概要

北原 七 氏 戦 死 時 状 況

八、死亡 區 分 戦 死 事由 瀕 死 轉 發 病 年 月 日 昭和 年 月 日

九、其ノ他 (註 意) 於 此 所 記 之 事 實 外、其 他 之 事 實 有 無 (申 立 済 上 陸 年 月 日 及 上 陸 地 點) 昭和 二 〇 一 七 年 十 月 陸 軍

⑩ 遺族ノ現住所

戦死者トノ額柄 父

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 二 一 年 六 月 二 七 日

證明者住所

戦死者トノ關係 [redacted]

所屬 部隊 名 第五四四七 部隊 [redacted] 隊  
兵種 補 兵 官 等 陸 軍 位 長

氏名

印

市町村長證明箇所

右 如 違 之 事 不 可 證 明 ス

昭和 二 一 年 七 月 三 十 日

官 長 部 長 班 長 班 長 班 長 班 長		留 留 留 留 留 留 留 留 留 留 留 留 留 留 留 留 留 留		認 定 料 資 及 料 資 人 手 概 観 認 定 料 資 及 料 資 人 手 概 観 認 定 料 資 及 料 資 人 手 概 観 認 定 料 資 及 料 資 人 手 概 観 認 定 料 資 及 料 資 人 手 概 観 認 定 料 資 及 料 資 人 手 概 観		決 判 決 判 決 判 決 判 決 判 決 判	
地方世話部 死亡者認定票 調製年月日 昭和 年 月 日 調製官職名 地方世話部		所屬部隊名 固有姓名 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票		本籍地 死 亡 年 月 日 時 死 亡 年 月 日 時 死 亡 年 月 日 時 死 亡 年 月 日 時 死 亡 年 月 日 時		徵 兵 年 限 死 亡 區 分 死 亡 區 分 死 亡 區 分 死 亡 區 分 死 亡 區 分	
氏 名 氏 名 氏 名 氏 名 氏 名 氏 名		現 住 所 現 住 所 現 住 所 現 住 所 現 住 所 現 住 所		留 留 留 留 留 留 留 留 留 留 留 留 留 留 留 留 留 留		認 定 料 資 及 料 資 人 手 概 観 認 定 料 資 及 料 資 人 手 概 観 認 定 料 資 及 料 資 人 手 概 観 認 定 料 資 及 料 資 人 手 概 観 認 定 料 資 及 料 資 人 手 概 観 認 定 料 資 及 料 資 人 手 概 観	
元所屬部隊名 元所屬部隊名 元所屬部隊名 元所屬部隊名 元所屬部隊名 元所屬部隊名		死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票		死 亡 年 月 日 時 死 亡 年 月 日 時 死 亡 年 月 日 時 死 亡 年 月 日 時 死 亡 年 月 日 時 死 亡 年 月 日 時		決 判 決 判 決 判 決 判 決 判 決 判	
死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票		死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票		死 亡 年 月 日 時 死 亡 年 月 日 時 死 亡 年 月 日 時 死 亡 年 月 日 時 死 亡 年 月 日 時 死 亡 年 月 日 時		決 判 決 判 決 判 決 判 決 判 決 判	
死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票		死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票 死 亡 者 認 定 票		死 亡 年 月 日 時 死 亡 年 月 日 時 死 亡 年 月 日 時 死 亡 年 月 日 時 死 亡 年 月 日 時 死 亡 年 月 日 時		決 判 決 判 決 判 決 判 決 判 決 判	





状況不明者の資料面

本籍地

兵長

所属部隊 固有名建築勤務第三七中隊

通稱號 威第四八二九部隊

第三R.H.に於て兵站参謀部、建築作業中マラリヤト

罹り八月二十日死せり

遺骸は戦死の一請に埋葬す遺留品なし

威第四八二九部隊

上等兵

死亡事實(現認)證明書

姓名

[Redacted Name]

現任所末着地と同じ

所属部隊 陸軍第一〇〇〇部隊

徴集年

官等級

氏名 [Redacted Name]

有ノ著昭和三十年八月三十一日十四時

ヲ分ルシニ於テ亦前ニ依リ戦傷

病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和三十年一月十四日

所属部隊

職名

官等級 陸軍員

氏名

[Redacted Name]

注一、死亡地點、受傷部位、病名等別シアルモノハ詳記ス  
二、職名ハ中、小隊長、砲手、探偵手等ハ詳記ス

65-11

### 戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所属部隊名(通稱) 〇〇〇〇部隊
- 二、徴集年 昭和十五年 役種 方一補七兵 兵種 兵隊
- 三、官位(死歿前) 兵曹 (死歿後)
- 一、氏名 [Redacted]
- 二、死歿場所 比島 [Redacted]
- 三、死亡区分並ニ事由 戦歿 [Redacted]
- 一、死歿年月日時分 昭和十五年 〇月 〇日 〇時
- 二、死歿者本籍地留守擔當者 [Redacted]

### 右確認(證明)ス

昭和三十一年 〇月 〇日

元所属部隊名 〇〇〇〇部隊  
 現住所 [Redacted]  
 元官等 兵曹  
 氏名 印 [Redacted]

註 死亡事由、場所ハナラズクワンクワン特ニ戦歿後ノ死亡(昭和ニ生死不明ニナラズ者)ノ前後ヲクワンクワン知ラセテ下サシ

宛 先 [Redacted]

地方世話部慰恤係

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所属部隊名(通稱) 第十四軍野戦歩兵隊
- 一、死歿年 昭和二十一年八月二十一日
- 一、官階(死歿前) 陸軍上等兵
- 一、氏名 [Redacted]
- 一、死歿場所 [Redacted] 地方市北才百十番地(東通街)トモトモ部(陸)
- 一、死亡区分(事由) 戦死(暴徒過剰)同土病マリアニテ死亡)
- 一、死歿年月日時 昭和二十一年八月二十一日
- 一、死歿者本籍地留守擔當者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和二十一年四月十五日

元所属部隊名 才百十番地(東通街)トモトモ部(陸)

現住所 [Redacted]

元官階級 兵

氏名 印 [Redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベククソシク特ニ終戦後ノ死亡ハ期ニ生歿不明ニテソク者ハソノ前後ヲ  
クツンシテ知ラセ下サイ

地方世話部 関係

死亡現認證明書

昭和

年 月

日 明製

<p>死 所 属 部 隊</p> <p>固有姓名比島康一、六八三部隊</p> <p>通稱比島康一、六八三部隊</p>	<p>本 籍 地</p> <p>[Redacted]</p>	<p>死亡場所</p> <p>比島大郡 比島郡 比島町 比島山奥</p> <p>カニカニ 比島郡 比島町</p>	<p>死亡年月日</p> <p>昭和廿年八月五日</p>	<p>死亡区分</p> <p>戦死</p>	<p>受 傷 箇 所</p> <p>胸部 カニツウ銃傷</p>	<p>病 年 月 日</p> <p>[Redacted]</p>	<p>氏 名</p> <p>比島埋葬</p>	<p>遺骨遺留品</p> <p>[Redacted]</p>	<p>現 認 事 由</p> <p>昭和廿年八月五日、比島大郡カニカニ、バツウエの中間山奥カニカニ南方部落に於て、終戦後、兵隊、病人、部隊隊に返納、入院途中、不軍に屬す、現地上民より、小銃より胸部カニツウ銃、戦死、遺骨、原地に埋葬、比島遺留品、途中、不軍の自、動、事、故、に、り、焼、死、す。</p>	<p>記 載 上 の 注 意</p> <p>一 現認事由は当時の状況を詳載に記入する。</p> <p>一 本誌の書は三翻作製する。</p> <p>一 階級は必ず死七を記載する。</p> <p>一 死七区分戦死の時は受傷箇所と戦病死のときは病名を病年月日と記載する。</p> <p>一 死亡場所、死亡区分、死七年月日、確及正、確小時は甲種は確実なるときは乙種、か、は、一、三、の、内、の、下、に、記、載、す。</p>
			<p>死亡年月日</p> <p>昭和廿年八月五日</p>	<p>死亡区分</p> <p>戦死</p>						
<p>死 所 属 部 隊</p> <p>比島大郡 比島郡 比島町 比島山奥</p>	<p>本 籍 地</p> <p>[Redacted]</p>	<p>死亡場所</p> <p>比島大郡 比島郡 比島町 比島山奥</p>	<p>死亡年月日</p> <p>昭和廿年八月五日</p>	<p>死亡区分</p> <p>戦死</p>	<p>受 傷 箇 所</p> <p>胸部 カニツウ銃傷</p>	<p>病 年 月 日</p> <p>[Redacted]</p>	<p>氏 名</p> <p>比島埋葬</p>	<p>遺骨遺留品</p> <p>[Redacted]</p>	<p>現 認 事 由</p> <p>昭和廿年八月五日、比島大郡カニカニ、バツウエの中間山奥カニカニ南方部落に於て、終戦後、兵隊、病人、部隊隊に返納、入院途中、不軍に屬す、現地上民より、小銃より胸部カニツウ銃、戦死、遺骨、原地に埋葬、比島遺留品、途中、不軍の自、動、事、故、に、り、焼、死、す。</p>	<p>記 載 上 の 注 意</p> <p>一 現認事由は当時の状況を詳載に記入する。</p> <p>一 本誌の書は三翻作製する。</p> <p>一 階級は必ず死七を記載する。</p> <p>一 死七区分戦死の時は受傷箇所と戦病死のときは病名を病年月日と記載する。</p> <p>一 死亡場所、死亡区分、死七年月日、確及正、確小時は甲種は確実なるときは乙種、か、は、一、三、の、内、の、下、に、記、載、す。</p>
<p>證 明 者</p> <p>元所属部隊 比島大郡 比島郡 比島町 比島山奥</p>	<p>本 籍 地</p> <p>[Redacted]</p>	<p>現 住 所</p> <p>会</p>	<p>階級氏名</p> <p>陸軍軍曹 [Redacted]</p>	<p>氏名、下に必ず捺印する。</p>						

103-10

現給證明書

本籍地

所屬部隊

陸軍第... 死亡前(終令)

年月日 氏名

[Redacted]

一 役種 兵種 徵集年

一 死 七 年月日 時刻

一 死 七 場所

一 死 七 原因

一 死 七 備考

一 遺骨の 有 無

一 遺族の 現 在 住 居

一 石 州 遺 蹟

一 昭 和 皇 年 表

一 現 在 住 居

一 遺 族 氏 名

一 父

一 母

一 兄

一 弟

一 孫

一 曾孫



20

現認證明書

比島派遣隊第一五七部隊 [redacted] 隊

陸軍少長 [redacted]

右者昭和二十年八月三日 [redacted] 於 [redacted]

現認者元 [redacted] 隊 [redacted] 陸軍少長 [redacted]

認人

昭和二十年八月三日

現認者元

第一五七部隊 [redacted] 隊

陸軍少長 [redacted]

現任 [redacted]

氏名 [redacted]

現認證明書

比島派遣隊第一五七部隊 [redacted] 隊

陸軍少長 [redacted]

右者昭和二十年八月三日 [redacted] 於 [redacted]

現認者元 [redacted] 隊 [redacted] 陸軍少長 [redacted]

認人

昭和二十年八月三日

現認者元

第一五七部隊 [redacted] 隊

陸軍少長 [redacted]

現任 [redacted]

氏名 [redacted]

印

現認證明書

本籍地

所屬部隊第一〇二中隊重隊

(通称) 威一六九八部隊

徵集年四八

陸軍 上士 陸軍 上士 陸軍 上士

死亡年月日

昭和三十五年八月十五日

死亡場所

オグロス島 バゴド

死亡原因

砲撃破片創

死亡状況 砲撃により両腕胸部に受傷、自隊に收容せし後死亡す

右正に現認し證明す

昭和 三 月 日

現認者

所屬部隊通称第一〇二中隊重隊 威一六九八部隊

現住所

旧職官階級氏名(印)

103-11



華員證明書

本籍

昭和十九年九月  
陸軍  
一等兵

昭和十九年九月  
陸軍  
一等兵

昭和十九年九月  
陸軍  
一等兵

昭和十九年九月  
陸軍  
一等兵

昭和十九年九月  
陸軍  
一等兵

昭和十九年九月  
陸軍  
一等兵

昭和十九年九月  
陸軍  
一等兵

昭和十九年九月  
陸軍  
一等兵

昭和十九年九月  
陸軍  
一等兵

昭和十九年九月  
陸軍  
一等兵

昭和十九年九月  
陸軍  
一等兵

昭和十九年九月  
陸軍  
一等兵

昭和十九年九月  
陸軍  
一等兵



# 戰時死亡現認證明書

官氏名印	現認者所屬	受傷(病)			勤務ノ概要	内地港灣出發年月日 戰地到着年月日	死亡		留守擔當者住所氏名	官等級氏名	役種徵集年	所屬部隊(固有名)	本籍地	區分	事
		傷(病)名	場所	年月日時			場所	年月日及區分							
比島水遣地立歩兵第三五八大隊 陸軍少尉	昭和二十一年十月十日 上陸復員者				小隊長	昭和十九年八月十七日門司發 同年十月十二日マニラ上陸	比島ルソン島 ラリス方面	昭和二十一年八月二十五日 時		現役 十八年徵集 死亡前ノ官等級 陸軍少尉 死亡後ノ官等級 陸軍少尉		比島水遣地立歩兵第三五八大隊			